

医学部保健学科

学位プログラム： 検査技術科学

授与する学位： 学士（保健衛生学）

教育目標

大阪大学および医学部保健学科の教育目標のもと、学位プログラム「検査技術科学」では高い倫理観と豊かな人間性を基盤に深い学識を有し、国際的にも活躍できる次のような能力を備えた医療専門職の人材養成を目指しています。そのため以下のとおり教育目標を定めています。

○高度な専門性と深い学識

- ・ 検査技術に関する専門的な知識と臨床検査と病態との関連を学習し、基本的な医療知識のみならず先進医療の分野に対応できる専門的な知識を教授します
- ・ 講義を受動的に受講するだけでなく、自発的に学習を進め、得られた知識を発表できる積極的な学習ができる環境を提供します

○教養

- ・ 医療情報の重要性を理解できる高い倫理観と豊かな人間性を養成します
- ・ 健康と社会の関係を理解し、コミュニケーションを通じて社会で活躍するための深い教養を養成します

○国際性

- ・ グローバル社会で活躍するために高度な専門知識・技術と語学力を基盤としてリーダーシップやサポーターシップがとれる人材を育成します
- ・ 国際的な医療分野の先進情報を収集するための技術力を養成します

○デザイン力

- ・ 自分でものを考え、情報を収集し、問題を解決できる能力を養成します
- ・ 将来実地臨床の医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できるデザイン力を養います

検査技術科学領域の高度な専門性に基づき、国内外の様々な分野で高い倫理観と豊かな人間性をもってリーダーシップを発揮できる医療人の養成を目指しています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学および医学部保健学科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「検査技術科学」では、国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、検査技術科学の専門性に関して確固たる自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するという教育目標に照らして、以下の目標を達成した学生に学士（保健衛生学）を授与します。

○高度な専門性と深い学識

- ・医療技術科学についての専門的知識および技能を得るために主体的かつ継続的に学習する能力を持つ
- ・専門的知識と学識を持ち、知識体系を人類の文化、社会、自然に関連づけて理解できる
- ・チームの一員として行動できるとともに、それぞれの専門領域における方向性を示し、目標の実現のためのリーダーシップをとることができる

○教養

- ・医療専門職としてふさわしい高い倫理観と人間性を身につけ、常に医療のプロフェッショナルであるという自覚のもとに使命感をもって行動できる
- ・深い教養を身につけ、社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる

○国際性

- ・自らの思考プロセスを第三者に伝達するための的確なプレゼンテーション能力と語学力、コミュニケーション能力を持つ
- ・日本語、英語を用いて必要な情報を国際的・多面的に収集できる
- ・専門的知識を総合的に活用しながら問題をグローバルな視点で位置づけできる

○デザイン力

- ・問題を探求するための柔軟で横断的な想像力を身につけ、問題解決のための実践的な方法をデザインできる
- ・得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察できるデザイン力を持つ

医療分野で活躍するスペシャリストとしての基盤を形成するために高度な専門性と深い学識を身につける。高い倫理観と豊かな人間性に基づいて自らを律し、グローバルな視点に立脚して課題に対して能動的に取り組むことができるデザイン力を身につける。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学および医学部保健学科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「検査技術科学」では、教養教育、専門教育、及び国際性涵養教育に関する授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実験・実習を効果的に組み合わせ、幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけながら、検査技術科学の理解を深め、理論と実践を科学的に追求し、検査技術科学の研究を発展させ、かつ医療専門資格につながる授業を展開し、科目の特性に応じた評価方法により、学修成果を適正に判断します。

<教育課程編成の考え方>

学位プログラム「検査技術科学」は、全学共通教育で幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけます。専門課程では、検査技術科学の理論と実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を総合的に教育・研究します。深い教養を基礎に、国際性とデザイン力を習得し、わが国における医療分野の知的拠点として、学問的進歩を先導し、その中核を担う指導的人材の養成を目標としています。カリキュラム全体を通し、医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚した医療のプロフェッショナルとして、目標の実現のために適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てる社会人を育成します。

<学修内容及び学修方法>

具体的には、1 年次春学期から 2 年次夏学期に、「学問への扉」、「基盤教養教育科目」、「情報教育科目」、「健康・スポーツ教育科目」により深い教養を深め、「マルチリンガル教育科目」（第 1 外国語、第 2 外国語、グローバル理解）などの国際性の基礎となる能力を修得し、専門科目を修得する基礎となる専門基礎教育科目と「検査技術科学序説」、「医療科学概論」、「臨床医学概論」などの専門教育科目の履修を通して、検査技術科学の基本と専門知識について学びます。

2 年次秋学期より人体のはたらきとしくみ、病気のメカニズムを学びます。また検査法を理解し、開発するうえで必要な物理・化学から生化学・分子生物学までの幅広い教育も並行して行われます。専門分野以外にも視野を広げ、修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力を養うために高度教養教育科目を履修することができます。

3 年次になると実際の検査技術の原理と方法、さらに個々の臨床検査データの意義を理解するために臨床医学や検査診断法についてより深い専門知識を学びます。さらに、2 および 3 年次の一部の科目では英文原著を通して専門知識を学習することで国際性への意識を高めます。

4 年次では大阪大学医学部附属病院の臨床検査部と各診療科（病棟、外来）において実習を行います。ここで最新の検査技術の実際を習得し、実際の臨床の現場で臨床検査がどのように活用されているかを学びます。さらに、検査技術学を深く理解するために、教員指導のもと課題を決めて特別研究を行い、各研究室で行われている先端研究の一翼を担います。この特別研究は優れた検査技師を育てるだけでなく、デザイン力、国際性、発信力を身につけ、将来の教育者・研究者

への道を方向づける契機にもなります。

<学修成果の評価方法>

学修の成果は筆記試験、レポート、口頭発表の内容や実習への参加状況等、シラバスの学修目標に沿って評価します。

1 年次～2 年次前半では教養科目を中心に、2 年次後半～4 年次では専門科目を中心に学びます。ただ、1 年次～2 年次でも医学系専門科目を学び、2 年次～4 年次では国際性やデザイン力を養成します。このように全学年を通して教育目標の達成に向けて教育内容が有機的に連携されたカリキュラムで学生を育成します。

検査技術科学専攻・カリキュラムマップ

○：臨床医学系専門科目または臨床医学の内容を多く含む科目、＊：複数の教育目標に対応した科目、青字：選択科目

教育目標

ディプロマ・ポリシーの
学習目標

- ・深い教養を身につけ、社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる
- ・医療専門職としてふさわしい高い倫理観と人間性を身につけ、常に医療のプロフェッショナルであるという自覚のもとに使命感をもって行動できる

教養

高度な専門性と
深い学識

- ・医療技術科学についての専門的知識および技能を得るために主体的かつ継続的に学習する能力を持つ
- ・専門的知識と学識を持ち、知識体系を人類の文化、社会、自然に関連づけて理解できる
- ・チームの一員として行動できるとともに、それぞれの専門領域における方向性を示し、目標の実現のためのリーダーシップをとることができる

デザイン力

- ・問題を探求するための柔軟で横断的な想像力を身につけ、問題解決のための実践的な方法をデザインできる
- ・得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察できるデザイン力を持つ

国際性

- ・自らの思考プロセスを第三者に伝達するための的確なプレゼンテーション能力と語学力、コミュニケーション能力を持つ
- ・専門的知識を総合的に活用しながら問題をグローバルな視点で位置づけできる
- ・日本語、英語を用いて必要な情報を国際的・多面的に収集できる

1年	2年	3年	4年
情報教育科目 学問への扉	健康・スポーツ教育科目	高度教養教育科目	
基盤教養教育科目／アドヴァンスト・セミナー			
医療科学概論＊○			
＜春・夏＞ 医療科学概論＊○ 放射線検査概論○	＜春・夏＞ 生体機能学 臨床医学概論○ 公衆衛生学概論○ 防災・災害医療と情報管理○	＜春・夏＞ 放射性同位元素技術学 臨床免疫学 臨床化学Ⅱ 臨床化学実習○ 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅱ 病理組織細胞学Ⅱ 臨床血液学 臨床微生物学 医動物学 医薬品開発総論 スポーツ検査科学○ 基礎動物実験学	＜春・夏＞ 臨床医学特別実習○ 臨床病理学○
＜秋・冬＞ 検査技術科学序説○ 実践情報活用論	＜秋・冬＞ 生体形態学 生体形態学実習 微生物学 検査情報解析学 検査情報解析学実習 病理組織細胞学Ⅰ○ 病理組織細胞学実習 生体分析学 臨床化学Ⅰ 臨床検査総論 臨床検査総論実習○ 臨床薬理学 医用工学	＜秋・冬＞ 検査システム管理学○ 医用工学実習○ 臨床免疫学実習○ 生命工学 生命工学実習 臨床生理学実習○ 臨床血液学実習○ 微生物医動物学実習○ 臨床医学最前線＊ 先端検査技術科学＊	＜秋・冬＞ 特別研究＊ 臨地実習○ ＊一部春・夏 社会医学○ 社会医学実習○ 看護学概説○
			特別研究＊
		臨床医学最前線○ 先端検査技術科学＊	特別研究＊
マルチリンガル 教育科目			